

# HOPE plus

[市立芦屋病院だより]



事業管理者  
新年あいさつ

## ポストコロナに向かって

市立芦屋病院 事業管理者

さじふみたか  
佐治文隆



新年おめでとうございます。

令和2年は中国湖北省で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、またたく間に日本を含め世界中に蔓延し、人々の生活様式を激変させ、人生観まで変貌させた年でした。感染の拡大はなお続き、本年も暗い年明けを迎えています。特効薬の開発、有効なワクチンの接種拡大など、医学・医療の進歩を信じて1日も早い感染収束を願っています。目に見えない病原体への恐怖から起こる医療従事者へのいわれのない偏見に耐え、職務を遂行した医療者には敬意と感謝を捧げます。当院の職員も感染予防対策に細心の注意を払い、院内感染を可能な限り抑制するよう努めています。

COVID-19拡大のさなか行われた注目のアメリカ合衆国大統領選挙は、激戦の末バイデン氏が選挙人の過半数を制して次期大統領の座を射止めました。アメリカ社会を分断に持ち込み、アメリカ・ファーストを唱えて全世界に混乱をもたらした異色の大統領トランプ氏の残した影響は決して少なくはありません。アメリカ国民だけでなく世界中の人々が協調して、感染症や温暖化など地球規模の危機に対応することが望まれます。

翻ってわが国では、一足先に菅義偉氏が首相に選出され、新たな政策をやつぎばやに打ち出しています。コロナウイルス禍への対策は当然として、例えば不妊治療の健康保険適応など医療に関する施策もみられます。デジタル庁を新設してまで力を入れるIT化には、オンライン診療、マイナンバーカードと健康保険証の一体化やマイナンバーカードを用いた診療情報の共有化などが含まれることも予想されます。

ポストコロナの時代はコロナ以前の世界に回帰不能とは考えますが、私たちの大義である地域住民の健康保持は不变であり、この責務を果たしつつ新時代の医療に適応してまいりたいと思います。



Buffalo(野牛)

休日  
がん検診  
の開催

平日は仕事や家事で忙しい方のために、休日がん検診を開催いたします。

早期発見のため、是非この機会にご受診ください。

※検診無料クーポンを利用できますので、お持ちの方は必ずご持参ください。

- 乳がん検診(エコー)39歳までの方(定員5名) ..... 5,775 円
- 乳がん検診(マンモグラフィー)40歳以上の市民 ..... 2,000 円
- 子宮頸がん検診(問診・細胞診)20歳以上の市民 ..... 1,000 円  
(オプション)子宮超音波検査 ..... 3,300 円
- 肺がん検診(CT撮影) ..... 8,800 円
- 大腸がん検診(便潜血) ..... 1,650 円
- 胃がんリスク評価(採血) ..... 4,950 円
- 前立腺がん検診(採血) ..... 6,875 円
- 肝炎ウィルス検診(採血) ..... 3,630 円

日 時 2月21日(日)

午前9時から午前11時30分

場 所 市立芦屋病院 外来棟3階

申込み 下記まで(事前予約制)

問合せ 市立芦屋病院 医事課 検診担当

TEL 0797-31-2156(代表)

※表示価格は全て税込価格です。

## 薬剤科の紹介

おか もと よし あき  
薬剤科 部長 岡本 穎晃



(写真上段 左より2人目)岡本部長と薬剤科メンバー

### 薬品管理とジェネリック医薬品

お薬は、原薬の製造、製品の製造、梱包と何段階もの工程と、日本国内だけでなく場合によっては何か国も経て皆様の手に届きます。同一成分であっても、原産国や工場が異なります。当院では、原薬の製造から最終的な流通まで可能な限りの情報を収集し、患者さんにとって最善のお薬を提供しています。

ジェネリックの方が適切であると判断したものは、ジェネリックに変更した結果、全国の公立病院でもトップクラスの使用率になっています。



### お薬相談

患者さんにとって最善のお薬を選択するときに必要なことは、患者さんあるいはご家族が、「お薬を飲むことによって患者さんがどうなることを期待されているか」を把握することであると考えています。医学的に最善のお薬を処方しても、飲み忘れがあれば期待した効果は得ることはできません。一緒に治療に参加していただけるように、お手伝いできればと考えています。どんなことでもご相談ください。

### 地域連携

近年、様々な場面で入院から在宅医療へ治療の場が変わりつつあります。お薬も地域の薬局で調剤されることが多いと思います。その際に、患者さんのことを理解し、より適切な医療を提供できるように、病院の薬剤師と薬局の薬剤師が連携できるように努めています。お薬の飲み残しがある場合、またはお薬が余っている場合は、薬局で申告すると調整いたしますので、積極的に薬剤師にお伝えください。



### 教育・研究

教育機関としては、緩和医療専門薬剤師指導施設、がん診療病院連携研修病院として薬剤師の卒後教育や認定薬剤師の養成機関としての機能と、薬学部の5年生の教育として、実務実習指導施設としての機能も有しています。

研究活動も、論文や学会発表を積極的に行ってています。業績は当院HPをご参照ください。

**[当院ホームページ]** <http://www.ashiya-hosp.com/kakuka/yakuzaika/index.html>



QRコードは  
こちらです



お薬調整入院のパンフレット

### お薬調整入院

慢性疼痛という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。慢性疼痛とは読んで字のごとく、長期間にわたって痛みが続き、日常生活に支障がでる状態です。一部の慢性疼痛にはお薬が効く場合もありますが、多くの慢性疼痛にはお薬が効きません。

世の中には痛み止めという種類のお薬が存在しますが、痛み止めを増やしても、痛みは良くならず副作用で眠くなったり便秘したりという患者さんもいます。そのような患者さんには、ペインクリニック外来と共同で、お薬を安全に減らして、日常生活に戻ることができるようにリハビリを行うプログラムを実施しています。

長引く痛みでお困りの方は、当院のペインクリニック外来をお勧めします。

## 緩和ケア内科の紹介

緩和ケア内科 部長 松田 良信

がんは医療の進歩により、治癒する患者さんも増えています。しかし、がん患者さんの死亡数は今後20年間、日本では変わらないと言われています。がん患者さんの遺族調査では、痛みが少なく過ごせた割合、からだの苦痛が少なく過ごせた割合、おだやかな気持ちで過ごせた割合は、ともに4割台にとどまっています。当院緩和ケア病棟では、がん患者さんの苦痛の緩和を目指しています。緩和ケア病棟に入院し、症状が緩和すると一旦お家に帰ることもできますし、最期まで入院される患者さんもおられます。病棟では、季節の催し、音楽療法、VRなど、患者さんが安らぎを得られるような工夫をしています。

現在3名の緩和ケア内科医師が、緩和ケア病棟とサポートティブケアチーム(緩和ケアチーム)に所属しています。サポートティブケアチームでは他病棟や外来でも、がん患者さんはもちろん、心不全などの患者さんのケアも行っています。医師、薬剤師、臨床心理士、看護師、リハ療法士、管理栄養士などの多職種でのカンファレンスを行い、患者さん、ご家族さんのご希望を反映できるように努力しています。

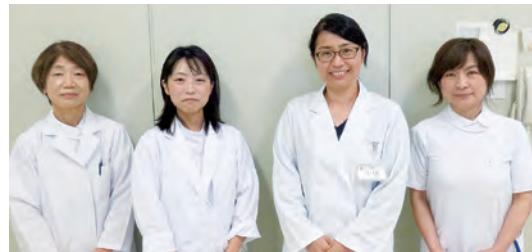
がん疼痛、呼吸困難感、吐き気などの身体症状や、せん妄、気持ちのつらさなどの精神症状の緩和を行っています。当院の地域連携室を通じて、受診のご相談をしていただけます。今後とも市民の皆様の信頼をいただけるよう努力していきます。



(写真左より)大前医師・松田医師・金井臨床心理士

## 眼科の紹介

眼科 平位 潤子



(写真中央 左より)平位医師と出垣医師、写真両端は視能訓練士ほか

当科は大阪医科大学から3名の非常勤医師が派遣され、外来診療と手術を担当しております。診療内容はドライアイ、白内障、緑内障、糖尿病など多岐にわたっております。

手術は主に白内障手術を行っております。

より専門的な治療が必要な患者さんには近隣の医療機関をご紹介しております。



こうもと  
河本医師

### 白内障

主に加齢により水晶体(カメラでいうとレンズに当たる部分)が濁ってくる病気で、かすみが出たり視力が落ちてきます。見えにくくなることで車の運転や普段の生活で不自由になった場合、手術の適応になります。

手術では濁った水晶体の中身を取り除き、人工のレンズを挿入します。局所麻酔下で約20-30分の手術です。術後は眼帯を付けていますので基本1泊2日の入院になりますが、患者さんのご都合により日帰りでの手術も対応可能です。

### 緑内障

視神経が徐々に障害されて見える範囲(視野)が狭くなる病気です。早期発見と定期的な治療が重要な病気です。主に視野検査で進行具合を調べ、点眼などで進行を食い止める治療を行います。

### 糖尿病網膜症

当院糖尿病内科などと連携をとり、早期発見と早期治療に努めています。網膜症を発症した場合、進行具合によっては蛍光造影検査をしたり、レーザー治療を行います。

診察では、可能な限り患者さんの不安やご心配を取りのぞき、わかりやすい説明をするように心がけています。

眼のことでお困りのことがございましたら、どうぞお気軽に受診ください。

### 各種行事のお知らせ

#### マチネーコンサート・両親学級・公開講座・糖尿病教室

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、イベントの開催を中止させていただきます。  
今後のイベント開催の可否については当院のホームページをご覧ください。

